

九州防衛局長

江原 康雄様

防衛施設整備に伴う環境整備等

に関する要望書

鹿児島県 さつま町

要　　望　　書

本町では、平成30年度から防衛施設誘致への取り組みを始め、以後毎年度防衛省をはじめ関係機関への表敬訪問を重ねて参りました。

この間、我が国をめぐる国際上の安全保障環境は、極めて厳しい状況に置かれているものと認識しております。

このような状況を踏まえ、先に防衛戦略三文書の改訂をはじめ、防衛費予算の枠組みが大きく見直されるなど、国際的な広い視野での対応が進められようとしていると認識しているところです。

国（防衛省）によるこのような一連の施策推進の中で、私たちが要望しておりました防衛施設の誘致事業に関して、令和6年度予算において適地調査費が計上され、本年度末を期限として具体的な調査が進められているところです。調査期間半ばではありますが、昨年末の段階で、地域の地質学的な成り立ちやこれまでの調査結果を踏まえ、施設建設に特段問題ない旨報告を受けたところであります。

また、こうした調査結果を踏まえ、昨年末には令和7年度予算案へ設計費が盛り込まれている旨説明も受けたところです。

具体的な設計費等の計上など、建設に向けた熟度が高まるにつれ、整備を期待する一方、地元住民からは不安や不満の声も強く聞かれるようになっているところです。

そこで、今後進められる具体的な設計や最終的な工事の建設に当たりましては、地元住民の不安や不満を払拭するべく、安全で安心できる施設への設計上・施工上の配慮等を強く望んでいるところです。

つきましては、設計費等が計上されたことを踏まえ、今後の事業の推進にあたりまして以下の事項についてあらためて要望申し上げます。

1. 住民の安心・安全に資するための情報提供について (継続)

火薬庫の整備ということで、安全性等に対する不安などの声もあることから、引き続きしっかりと調査を実施する上で、住民の安心・安全に資するための情報提供をお願いします。

2. 時宜を得た丁寧な説明会の実施について (継続)

引き続き調査が継続され、最終的な調査結果の報告を踏まえ、施設の規模や仕様（態様）など、しかるべきタイミングでの説明会の開催について要望いたします。

3. 施設周辺住民への民生・住環境・生産基盤等に対する環境整備について

(1) 水源調査に基づく設計・施工上の配慮について (修正)

適地調査実施に伴う地元説明会の際にも要請がありましたように、周辺下流域には鹿児島県全域への主食用米の種場で水稻栽培が盛んな地域を有していることや、周辺の一部では中岳一帯の水源涵養林の伏流水を利用した井戸や湧水を生活用水として利用されている集落もありますことから、水資源に関する調査と調査結果を踏まえた設計段階からの利水対策等の対応につきましては特段の配慮をお願いいたします。

(2) コミュニティ施設の整備等について (修正)

町有施設をはじめ、自治コミュニティが管理運営する公民館・集会施設・公園緑地等は、避難施設として活用されているほか、地元の各種イベントの会場として有効活用されているところです。特に、地元では、不安や不満の声の一方で、施設に勤務する隊員・職員等とも広く交流を図り地域の活性化につなげたいという思いもあるところです。

つきましては、施設建設に併せて、町指定避難所としても活用されている公民館施設の再整備等を要望いたします。

(3) 安全安心につながる環境整備について (継続)

施設の整備により、反対住民ならずとも、万が一の事故や災害発生など

への不安は誰もが抱くものと思われます。地域住民が快適な生活環境を継続して確保できるよう、周辺地域への影響を踏まえた避難施設に通じる道路や消防施設等の整備について要望いたします。

4. 地元企業への優先的発注等について (継続)

防衛力整備計画において、地元中小企業の受注機会の確保を図るなど、地元経済に寄与する各種施策を推進すると示されているところ、施設整備工事をはじめとする各種工事等の施工や、関連サービス業、資材等の調達など、関連事業の推進にあたりましては、特に防衛上のセキュリティ等重要な工事・サービス等を除き、当地域の事業者にも十分遂行能力があると思いますので、地場産業の育成の観点からも、発注に当たっては地元企業の受注機会の拡大などについて要望いたします。

5. 地域医療体制の拡充に向けた支援について (継続)

当地域医療の要である薩摩郡医師会病院は、当地域の2次救急医療施設としてその機能や施設の充実が強く望まれているところです。

現在、薩摩郡医師会では、施設の老朽化と近年の高度地域医療に対応すべく、施設の再整備について関係の整備計画を検討中であります。

また、今回の防衛施設（火薬庫）の整備に合わせて、災害等を含めた有事における医療供給体制に当たり、施設の提供や人的協力など医師会病院の共同運用の可能性について研究を企画されるなど、相互の医療部門の円滑な運用について全面的に推進する姿勢を示されているところです。

そこで、薩摩郡医師会が進める医師会病院の再整備及び今後の地域医療の供給体制の推進について要望いたします。

6. 均衡ある地域発展への寄与について (継続)

施設整備に併せて整備が見込まれる隊員（職員）向け官舎等の配置、施設運用段階において必要となる資材等の調達など、設計段階から均衡ある地域発展を考慮した設計となるような配慮を要望いたします。

また、施設及び関係業務に配置された隊員（職員）につきましては、町内居住を基本とし、本町住民として地域住民と一体となっての地域活性化にも取り組んでくださるよう要望いたします。

7. 主要幹線道路の整備促進について (新規)

防衛施設誘致を進める上での本町のセールスポイントの一つには、国道や自動車専用道路等の主要幹線交通網の整備があり、近隣自衛隊駐屯地や空港・港湾など、重要施設間の連携に適した環境にあると考えております。

ただ、こうした計画路線の早期整備に対して、国（国土交通省・財務省）への要望も継続して実施しておりますが、インフラ整備に係る予算の枠組みも厳しく整備率は思うように伸びていない現状であります。

公共交通インフラが十分でない地方にとりまして、安全で快適な道路交通網の整備は、日常生活はもとより産業振興や地域活性化に必要不可欠な社会資本施設であると考えているところです。

あわせまして、今回の火薬庫の整備が正式に決定となりますと、工事中はもとより、完成後の関係車両等を含めたスムーズな物流は事業の成否へ直結するものと感じているところであります。

つきましては、防衛施設を取り巻く環境整備として、計画路線をはじめ周辺路線網の整備について、ご支援賜りたく要望申し上げます。

以上、事業の推進に関しましてあらためて要望申し上げます。

令和7年7月24日

鹿児島県 さつま町長 上野俊市